

大阪府環境審議会水質測定計画部会報告書

大阪府環境審議会水質測定計画部会長

「大阪府環境審議会条例」第 6 条第 1 項の規定に基づき、平成 23 年 2 月 2 日に第 11 回水質測定計画部会を開催し、知事から諮問のあった平成 23 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について審議を行い、同日付けで答申を行ったので、「大阪府環境審議会水質測定計画部会運営要領」第 3 条第 6 項の規定に基づき報告する。

なお、「大阪府環境審議会条例」第 6 条第 7 項及び「大阪府環境審議会水質測定計画部会運営要領」第 3 条第 5 項の規定に基づき、水質測定計画部会の決議を大阪府環境審議会の決議とした。

第 11 回水質測定計画部会の概要

1 公共用水域及び地下水に係る水質の現況

(1) 公共用水域

公共用水域の水質測定は、河川が昭和 46 年度、海域が昭和 47 年度より実施しており、平成 21 年度の測定項目数は河川 76 項目及び海域 50 項目で、測定地点数は 105 河川 144 地点及び海域 22 地点である。(図 1)

① 河川

- ・ 平成 21 年度は、健康項目については、ひ素が 1 地点、ほう素が 7 地点で環境基準を達成しなかったが、他の 24 項目については、全測定地点で環境基準を達成した。
- ・ 河川の代表的な汚濁指標である BOD の環境基準の達成率（平成 21 年度）は 82.5%と過去最高であった。環境基準達成率の経年変化をみると近年は上昇傾向が認められる。
- ・ 大阪府域の主要な河川の BOD は、長期的な変動傾向として、概ね全ての河川で改善されていることが認められる。(図 2)

② 海域

- ・ 平成 21 年度は、健康項目については、全測定地点で環境基準を達成した。
- ・ 海域の代表的な汚濁指標である COD の環境基準の達成率（平成 21 年度）は兵庫領域を含む大阪湾では 66.7%で、C 海域の全域と B 海域中の 1 水域で環境基準を達成した。
- ・ 平成 21 年度は、全窒素は全ての海域で環境基準を達成したが、全りんはⅡ類型の海域で達成しなかった。

(2) 地下水

- ・ 府域の汚染状況を把握するための概況調査は、平成元年度より実施している。平成 17 年度～21 年度の測定地点と環境基準超過地点を図 3 に示す。平成 21 年度は 78 地点で調査を実施し、その結果、75 地点 (96.2%) で環境基準を達成した。
- ・ 汚染井戸周辺地区調査は、平成 21 年度までの概況調査等により地下水の汚染が懸念される 356 地点で調査を実施し、その結果、332 地点 (93.3%) で環境基準を達成した。
- ・ 継続監視調査は、平成 21 年度は 142 地点で調査を実施し、その結果、77 地点 (54.2%) で環境基準を達成した。(図 4)

2 平成 23 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の内容及び主な変更点

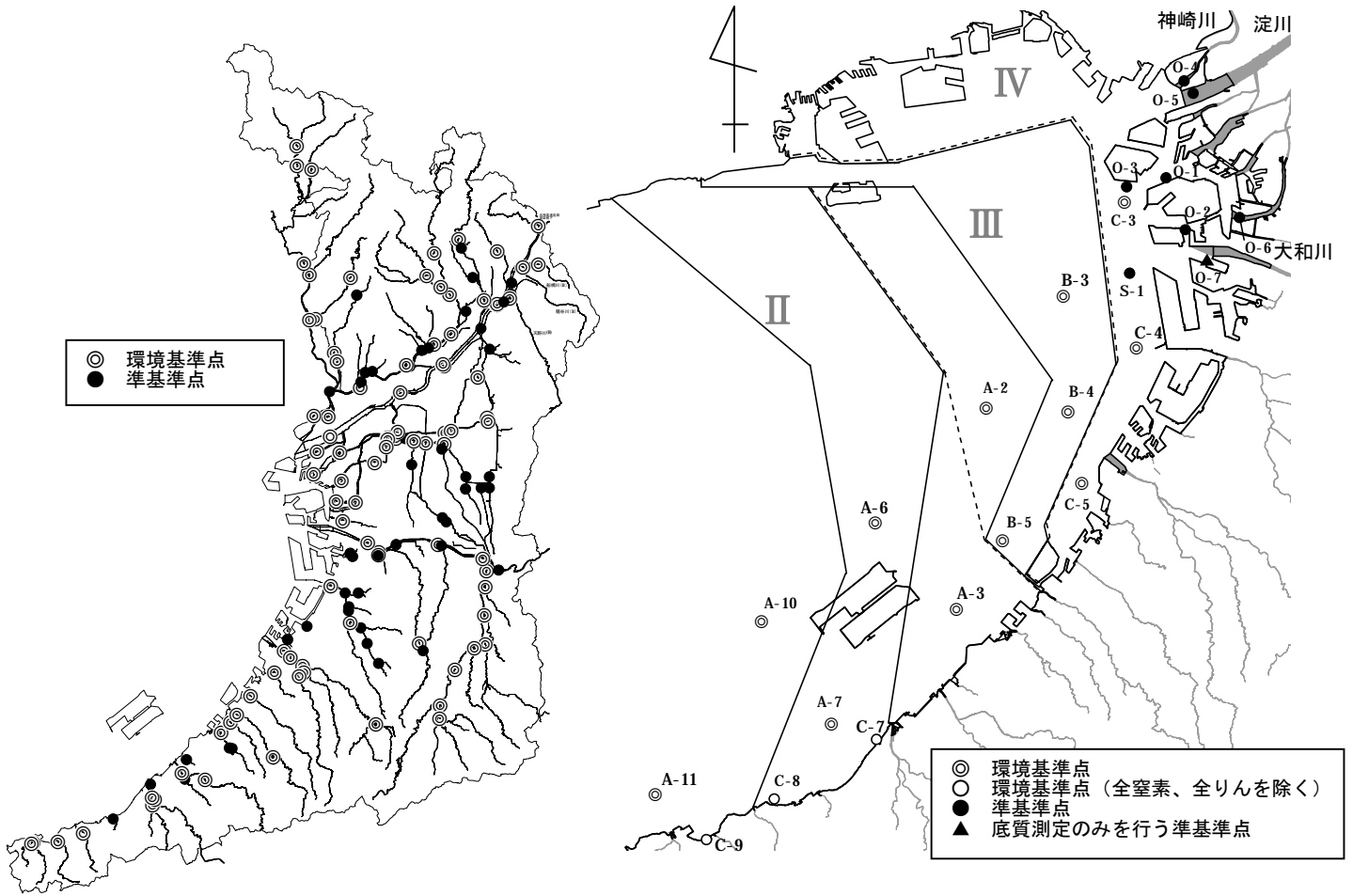
(1) 平成 23 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の内容

- ① 河川の水質について 105 河川 144 地点、底質について 49 地点、海域の水質について 22 地点、底質について 15 地点で調査を実施する。
- ② 地下水については、概況調査を 83 地点、継続監視調査を 140 地点で実施する。

(2) 平成 22 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画からの主な変更点

公共用水域について、過去の検出状況等に応じ、測定回数の効率化あるいは重点化を行った。

3 審議の結果、平成 23 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画は承認された。



■測定期間 : 河川 昭和46年度～ 海域 昭和47年度～
 ■測定項目 : 河川 76項目 海域 50項目 (平成21年度)
 ■測定地点 : 河川 144地点 海域 22地点 (平成21年度)

図1 公共用水域の水質測定

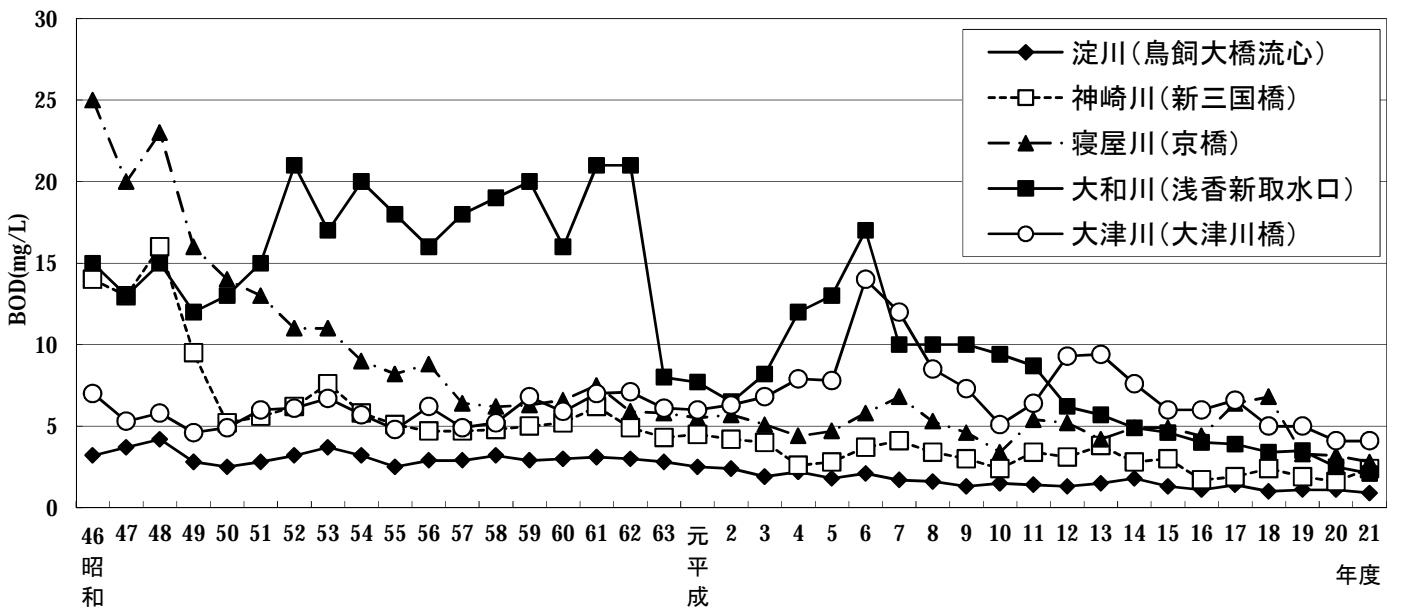
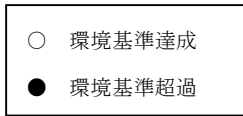


図2 府内の主要河川における BOD (年平均値) の推移

平成 17～21 年度概況調査地点図



達成地点数	382
超過地点数	20
調査地点数	402

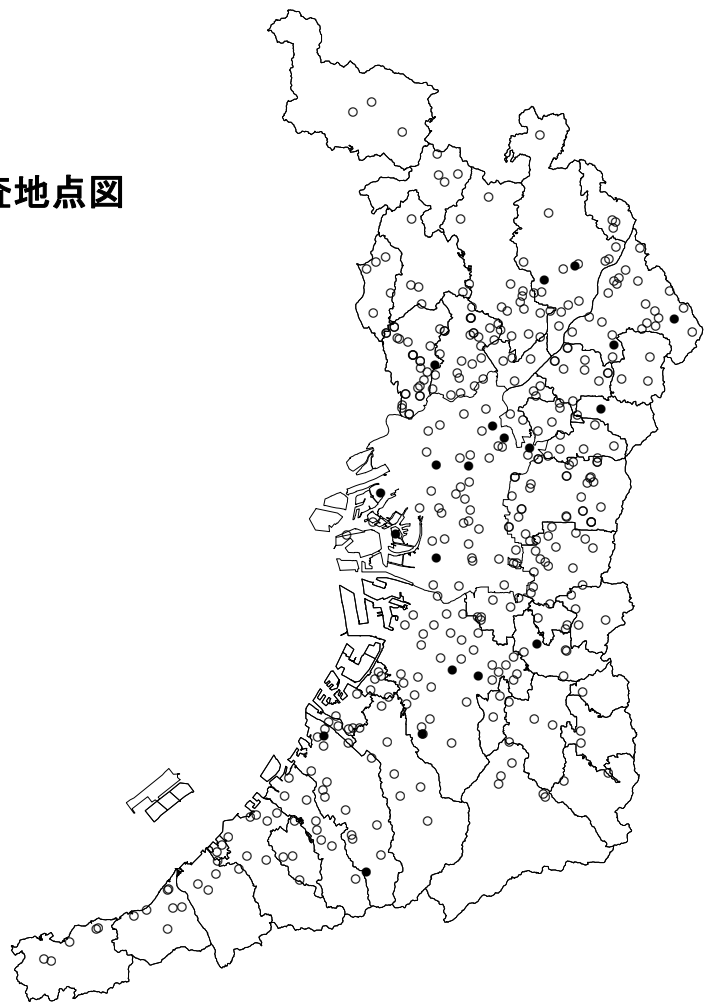
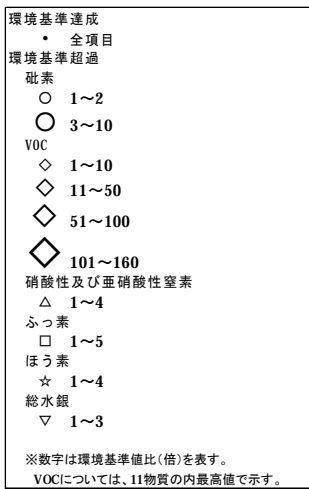


図 3 地下水の水質測定



浅井戸

深井戸

	浅井戸	深井戸	計
調査地点数	98	44	142
超過地点数	41	24	65
達成地点数	57	20	77

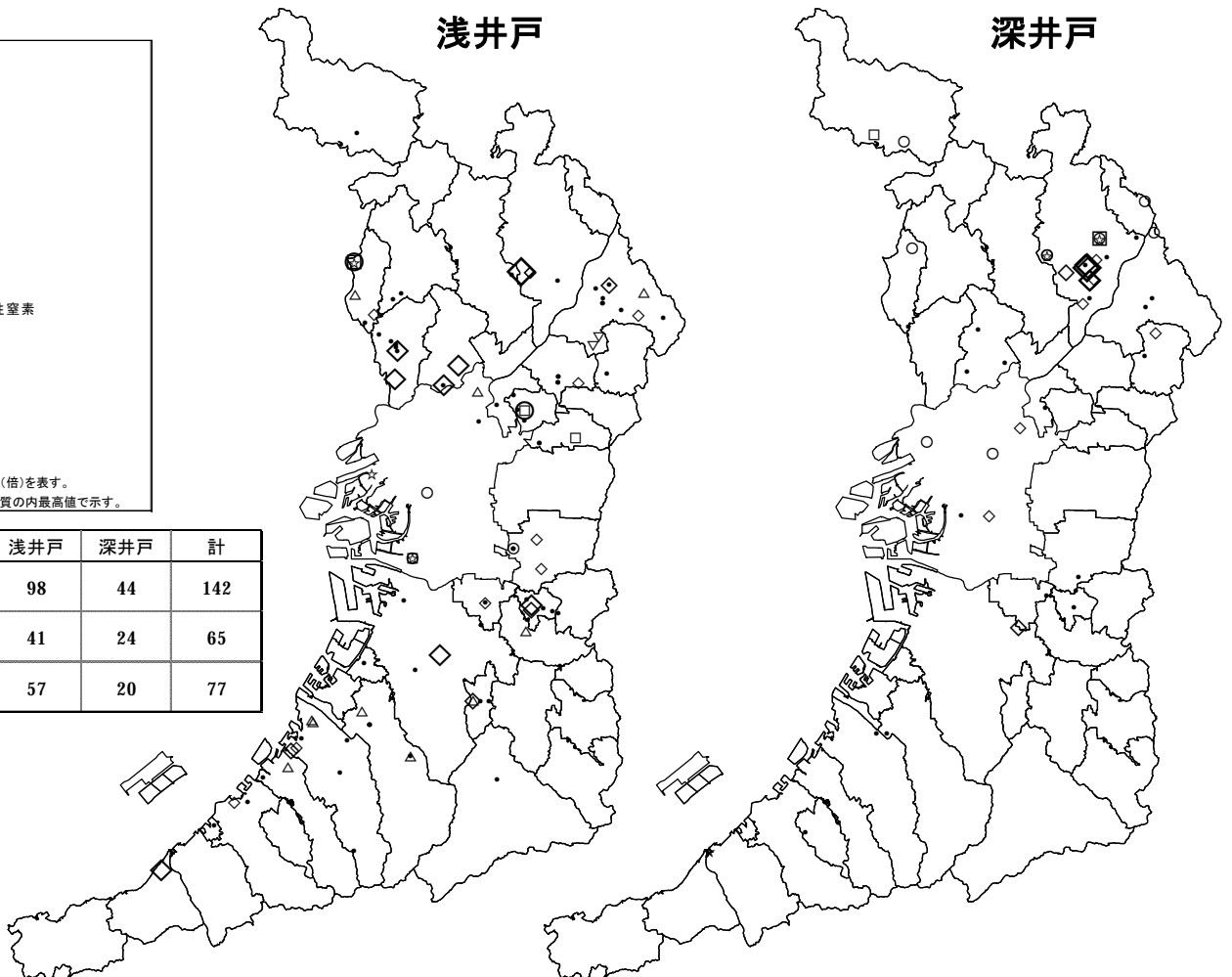


図 4 平成 21 年度継続監視調査地点図